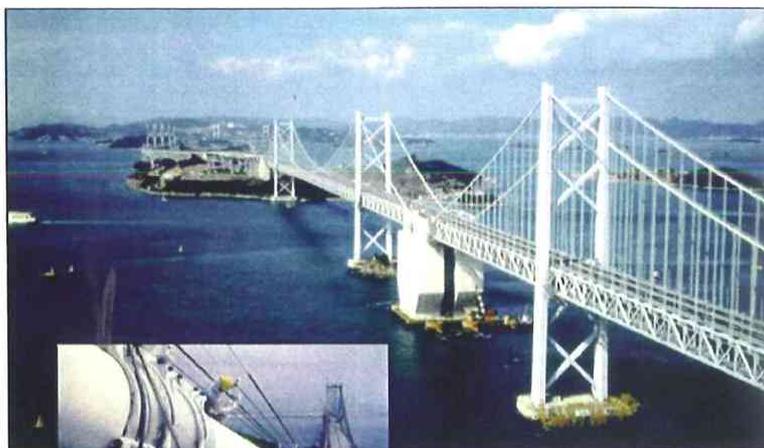


橋梁の色彩

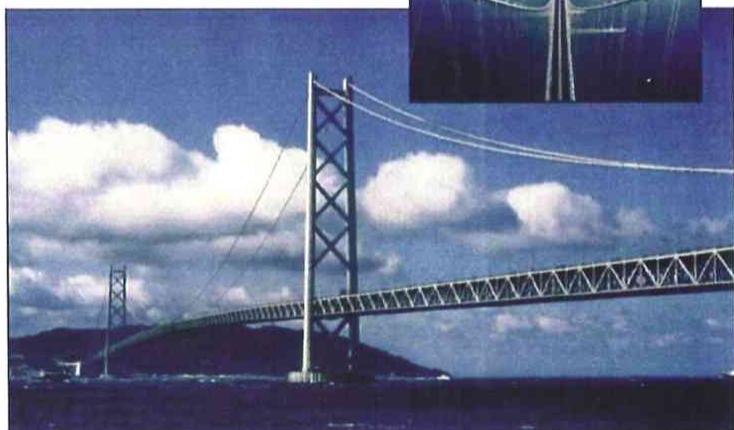
橋梁は生活の利便性や地域の発展など、暮らしと深く関わっているため、その色彩は周辺環境との調和や地域の特性、さらには構造美を引き出すことが望まれる。人々に親しみと新鮮なイメージを与えることが大切です。



南・北備讃瀬戸大橋



明石海峡大橋



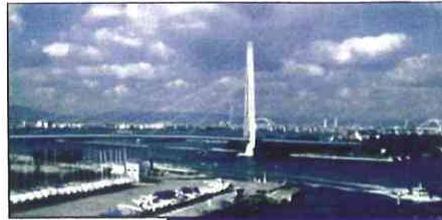
白鳥大橋



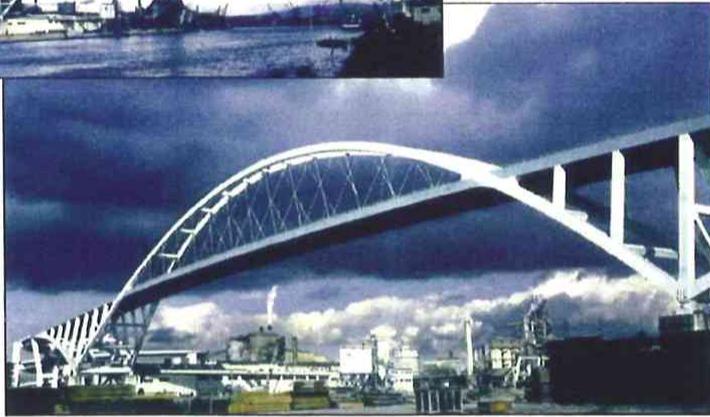
名港トリトン



常吉大橋



新木津川大橋



第二名神木曾川橋



南陽大橋



橋梁の色彩設計例

名古屋瀬戸道路 「長久手本線」



1. 橋梁の色彩について

最近ようやく人々の景観に対する関心が高まってきました。景観は空や木々の緑などの自然と、建物や道路などの人工物から成り立っています。なかでも大型公共建築物である橋梁や高速道路は、スケールの的にも景観に与える影響が大きく、人工の色が氾濫している今日、景観色との調和、周辺環境に対する思いやりや心づかい、公共物としての意味付けが必要になります。また、現代は「表現の時代」と言われ、橋梁にも美しさ、アメニティ(快適性)、アイデンティティ(個性)が求められています。従って快適な景観形成の一環として成功させるには、色彩の検討、イメージの確認及びコンセンサスが不可欠です。

2. 位置



3. 名古屋瀬戸道路全体の 景観コンセプト

全体景観整備コンセプト

- 新たな暮らしを創造する道づくり
 - 【住環境との調和】
 - ・地域資源とその背景である生活環境への配慮
 - ・地域景観の軸となる緑豊かな街路空間の形成
 - 【並走する他路線との調和】
 - ・グリーンロードや新交通システムとの一体的な整備

景観イメージへの展開

- 山並みのスカイラインを活かした道づくり
 - 【地域景観との調和】
 - ・地域の地形や景観要素に馴染む外部景観
 - 【地域景観の保全】
 - ・特に自然豊かな地域における環境への配慮の徹底
- 連携軸としての道づくり
 - 【一貫したイメージの形成】
 - ・利用者への一貫した道路景観イメージの提供



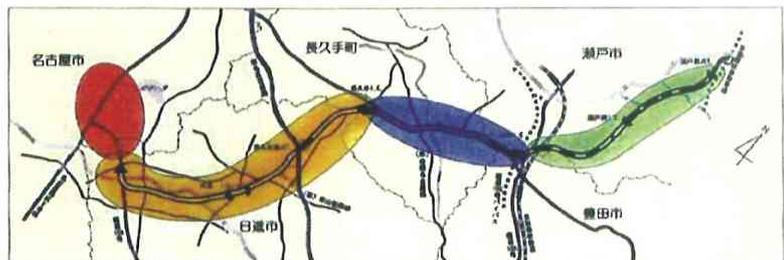
長久手インターチェンジ



日進インターチェンジ

4. 「長久手本線」ゾーンの特徴

ゾーンCのゾーンB寄りに位置し、田園部からの眺めに対し、新交通システムとの2重の橋梁がすっきりと収まる道路景観の形成を計ります。



| ゾーンA | ゾーンB | ゾーンC | ゾーンD |
|--|---|--|-----------|
| 起点～ 日進市境付近 | 日進市境付近～ 長久手I.C. 付近 | グリーンロードとの 重複・並走区間 | 八草～ 終点 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 農地・既存集落・学校等が路線周辺に点在する ● 日常生活空間の中で高架構造が眺められる | <ul style="list-style-type: none"> ● グリーンロードの他、新交通システム・高架とも並走する ● 桁下のグリーンロード利用者への配慮が必要な区間 | <ul style="list-style-type: none"> ● 生態系豊かな海上の森への配慮が必要 ● 新住計画地へのアクセス道路として捉えられる | |

5. 「長久手本線」

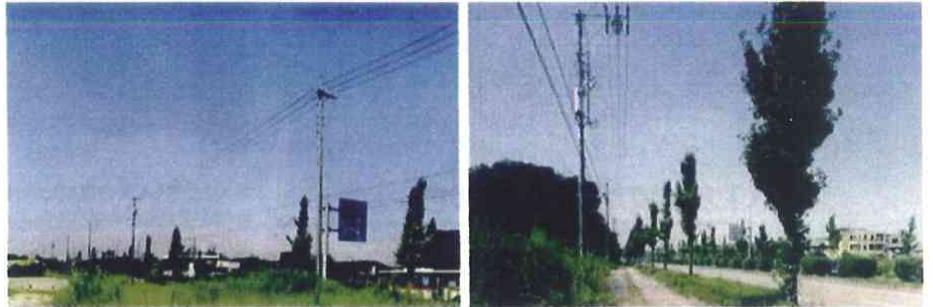
色彩設計のポイント

構造物の威圧感を和らげる色彩

色彩は見る人にさまざまな感情を起こさせます。寒・暖感情、派手・地味感情、興奮・沈静感など多様な効果があります。更に色彩は品性、連想性を呼び、それらがアイデンティティ、キャラクターとなります。本ランプに必要なイメージは「軽快」「平静」「清楚」「沈静」といった、見る人にやさしさ、すがすがしさを与えることがふさわしいと考えます。従って明度は高く、彩度は低めが望ましい。

周辺環境との調和を考慮した色彩

本線の周辺には草木の緑や田圃地帯が広がっています。自然が失われている今日、その色彩には慎重な対応が必要です。具体的には草木の緑、空の青、土砂のオーカー、コンクリートグレーとの調和を検討します。自然への配慮から、相対する色彩(赤、橙などの暖色系)は避け、中性色の緑系や寒色系の青が適しています。



6. CG (フォト・モンタージュ)

【A案】

A39-80D (10GY 8/2)



黄緑から緑の中性色は疲れな、安らぐといった心理的效果があります。さらに緑系は景観色が社会的関心の高まるなか、周囲に自然の多い場合に環境調和の面から優れているため、橋梁色としておすすめします。なお、青空とは類似の調和となります。A案は明度を汚れが目立たない程度に高く (Value 8.0)、彩度を抑えきみ (Chroma 2.0) にしたライトグリーンで、新芽や若葉のイメージを与える新鮮で爽やかな色です。

【C案】

A55-80D (5BG 8/2)



C案では、色相を青方向にずらしたライトブルーグリーンを提案します。ブルーは河や空のイメージの運動性から、橋梁色としてはポピュラーな色彩です。草木とは類似の調和となります。印象としては現代感、スマート感がプラスされ、すっきりとした上品な雰囲気になります。また、コンクリートグレーとの配色が良好です。

名古屋瀬戸道路「長久手本線」

7. 完成



色彩設計フローチャート

